

# 柏崎刈羽原子力発電所 6号機中央制御室床下の ケーブルおよび分離板の不適切な設置について

2015年10月22日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

## < 発生状況 >

6号機中央制御室床下において、電气的分離および火災防護のために安全区分\*1に応じてケーブルを分離敷設する耐火性の分離板が倒れ、一部の安全系ケーブル\*2が一般ケーブル\*3と混在敷設していることを確認しました。  
(2015年9月28日分不適合事象(G グレード)としてお知らせ済み)

その後、6号機中央制御室下部のケーブルおよび分離板の設置状況を確認しており、現在までに、以下のような状況を確認しました。

- 安全区分に応じた分離敷設が適切に実施されていなかったケーブル  
：約160本
- 誤ってケーブルを敷設していた垂直分離板(倒れ、跨ぎ、欠損等)  
：約50カ所

\*1 安全区分：安全機能を有する系統・機器を多重化している区分

\*2 安全系ケーブル：原子炉緊急停止系や非常用炉心冷却系の制御を行うケーブル等

\*3 一般ケーブル：水密扉のブザー用ケーブルや津波監視カメラの伝送ケーブル等

## < 安全上の影響 >

ケーブルおよび分離板が不適切に設置されていると、万一火災が発生した場合の延焼の可能性が高くなります。しかしながら、以下のような「火災の発生防止」「火災の検知・消火」に関する対策により、火災による影響を抑えることとしており、原子炉の安全を損なうものではないと考えております。

- 安全系ケーブルに難燃性材料を使用
- ケーブルの周囲には燃えやすい物を置かない
- 火災報知器、常駐する運転員による火災の早期発見
- 万一火災が発生しても、常駐する運転員が速やかな消火活動を実施

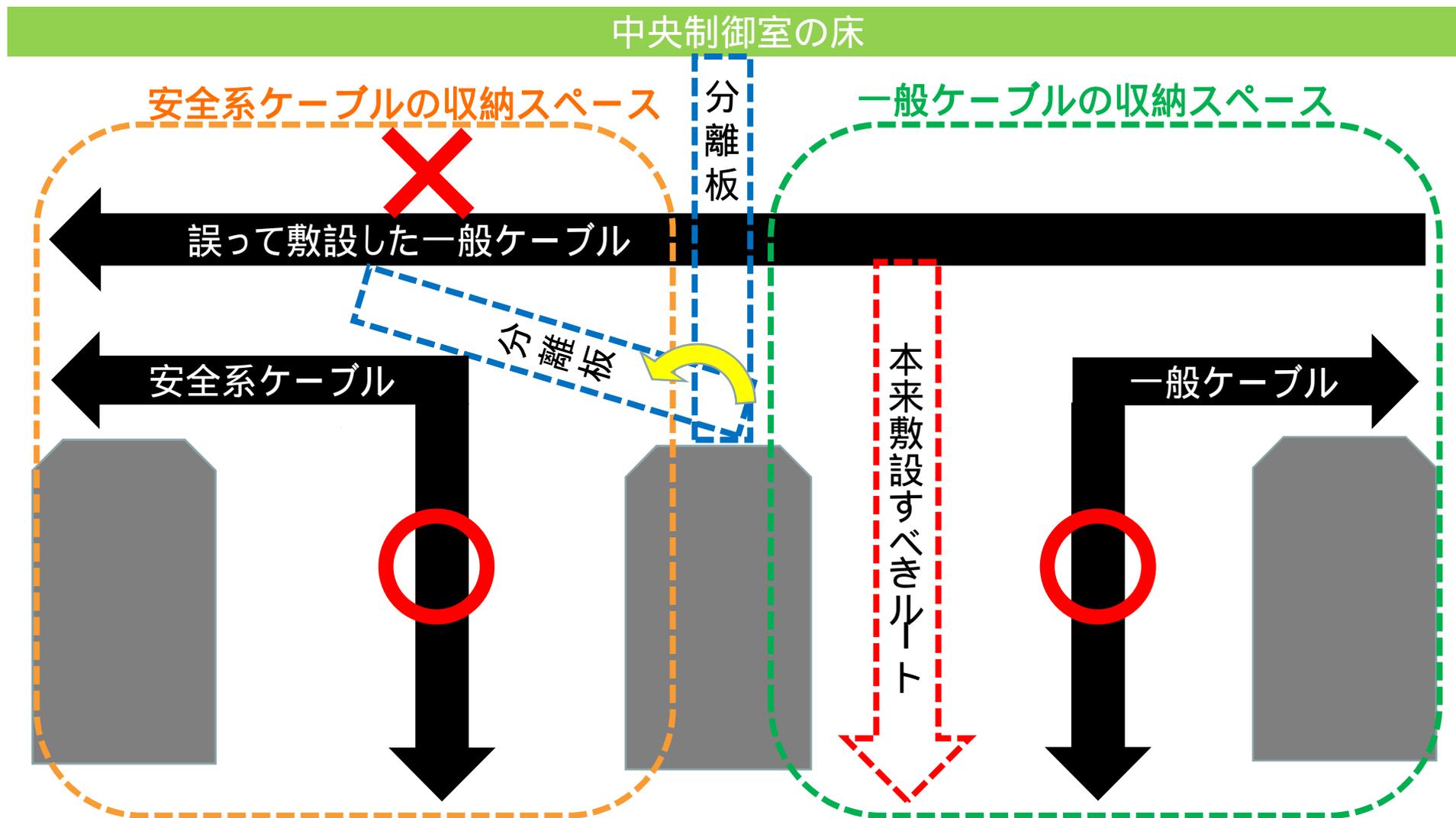
## < 今後の対応 >

ケーブルおよび分離板の不適切な設置が確認された箇所については、適切に是正してまいります。

万一の火災発生に備え、中央制御室における監視強化を実施します。

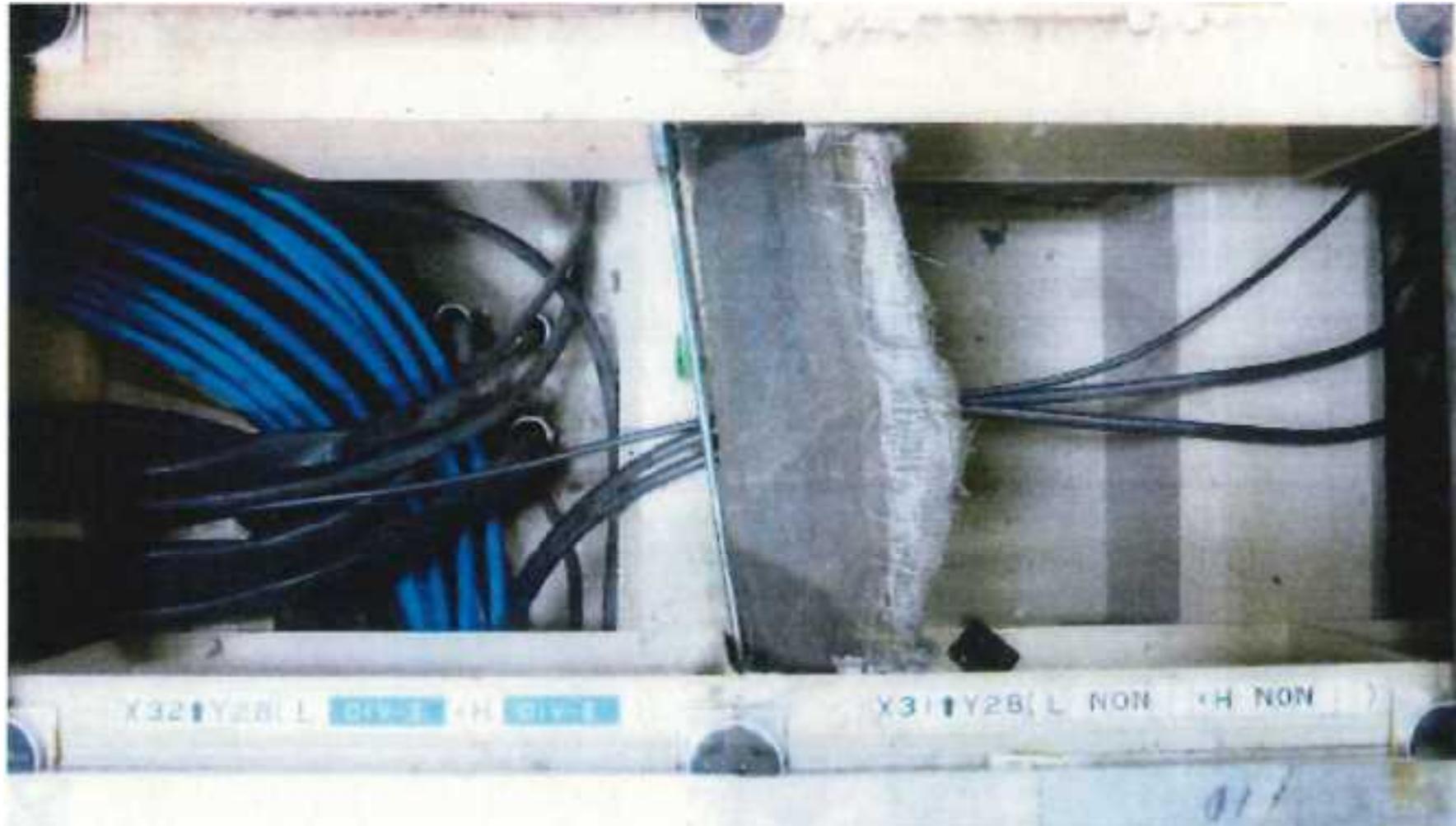
不適切な状況に至った原因調査を進めてまいります。

# 【参考】中央制御室床下の安全系ケーブルと一般ケーブルの混在イメージ



## 【参考】ケーブルが混在敷設している例

---



## 【参考】正常な状態の例

---

